

科目名	心理学と意思決定	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			法学部	□必修 ■選択	
			学部	□必修 □選択	
英文表記	Psychology of Decision-Making	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年		
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中		
ふりがな	せと ひろし	実務家教員担当科目		修得単位	2単位
担当者名	瀬戸 泰	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	「人生は選択の連続である」といわれるように、私たちは日頃、自覚的・無自覚的に様々な意思決定を行っています。本授業の前半では、経済学と心理学が融合した学問とされる「行動経済学」の理論を中心に、人の意思決定はいかにして行われるかを学びます。後半では、意思決定に関する心理学的な理論を取り上げ、人間の合理的かつ不合理的な意思決定のあり方について理解を深めることをテーマにします。				
到達目標	1. 行動経済学に関する代表的な理論や考え方を理解し、説明することができる。 2. 意思決定に関する心理学的な理論について理解し、説明することができる。 3. 日常生活における身近な出来事や現象について、上記1および2の視点から考察できる。				
授業概要	座学を中心に、行動経済学および心理学的な視点を基にした意思決定に関する内容を扱います。日常生活における具体例等を多数盛り込み、できるだけ分かりやすく授業を進めていきたいと考えています。				
授業計画					
第1回	イントロダクション	(授業の概要、行動経済学とは、人の判断は当てにならない?)			
第2回	プロスペクト理論①	(意思決定にまつわる非合理性、価値関数、日常事例)			
第3回	プロスペクト理論②	(人は確率を正しく認識していない?、確率加重関数、日常事例)			
第4回	認知パターンと意思決定	(システム1& システム2、ヒューリスティック)			
第5回	認知バイアス①	(認知バイアスとは、選択に関するバイアス、記憶に関するバイアス)			
第6回	認知バイアス②	(推定に関するバイアス、対人に関するバイアス、認知バイアスへの対処)			
第7回	ナッジ理論①	(合理的な選択を誘導する仕組み、デフォルト)			
第8回	ナッジ理論②	(ナッジの作り方、選択アーキテクチャ、ナッジの具体例)			
第9回	ナッジ理論③	(ナッジのチェックリスト、行政とナッジ、負のナッジとしてのスラッジ)			
第10回	悪習慣と依存症	(様々な刺激と依存症、コントロールされる脳、孤独の病としての依存症)			
第11回	意志力	(自制心は消耗する?、マシュマロテスト、意志力を高めるために)			
第12回	ゲーム理論と意思決定	(囚人のジレンマ、最後通牒ゲーム、他者の目を意識する心)			
第13回	思考実験	(明確な答えのない問題と判断材料、トロッコ問題、哲学的ゾンビ)			
第14回	自由意思とマインドフルネス	(自由意思の問題、リベットの実験、デフォルトモードとマインドフルネス)			
第15回	より良き意思決定のために	(WRAP 理論、限定合理性、より良き意思決定に向けて)			
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	学習内容の定着を図るため、毎回、復習を行うようにしてください。 授業で学んだことを、日々の経験や日常生活で意識的に当てはめ、考察・活用できるよう努めて下さい。				
履修条件 受講のルール	履修のための条件はありません。				
テキスト	毎回、講義用レジュメを配布します。				
参考文献・資料	筒井 義郎 ほか 『行動経済学入門』 (東洋経済新報社、2017 年)				
成績評価の方法	毎回のコメントシート 60%、試験 40% ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。				

オフィスアワー	月曜日もしくは火曜日の10:30～12:00 ※上記以外の時間帯でも、研究室に在室中であればお声がけください。 E-mail : seto@nau.ac.jp
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び 実務を活かした 授業内容	—
学生への メッセージ	「行動経済学」と聞いて、数式や難解な経済用語を思い浮かべて躊躇する方もいるかもしれませんが、授業では数式等はほとんど用いません。 「3日間だけの限定公開・1週間限定の特別価格〇〇〇円!と目にとると、気になってしまう」 「クレーンゲームで1000円も損しているのに、途中で止められない」 「ほとんど当たらないとわかっている宝くじを多くの人を買うのは何故だろう」 「低迷している検診の受診率をどうしたら上げることができるだろう」 行動経済学は、こうした人間の意思決定に潜むメカニズムについて、経済学と心理学を組み合わせた視点から分析していくもので、近年、様々な分野から注目を集めています。 また、後半では心理学的な理論として、意思決定の背景にある心の働きの他、依存症や自制心といった私たちに身近なテーマについても取り扱っていきますので、自身や他者の日常的な意思決定や行動と照らし合わせながら受講していただけたら理解が深まりやすいと思います。